

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

市内の橋梁について	
日 時	令和元年5月9日（木）9時28分～16時04分
場 所	湖南省役所東庁舎4階第3委員会室及び現地
出席者	菅沼委員長、松井副委員長、植中委員、桑原田委員、堀田委員、大島委員、松原議長
説明者	建設経済部長、建設経済部理事、建設経済部次長、土木建設課長、都市政策課長、産業振興戦略局長、商工観光労政課長、総務部長、総務部次長、生活環境課長、生活環境課係長
次 第	<p>① 議事案件 所管事務調査について ■市内の橋梁について（現地調査）</p> <p>② 報告事項 ■第二次湖南省環境基本計画（案）について ■石部駅周辺整備計画（案）について ■湖南省独自企業立地優遇支援施策について ■行政視察について</p>
説明内容	平成26年7月の道路法改正により、施設の5年に一度の目視による定期点検が義務化され、市内管理橋梁（橋長2m以上）197橋の定期点検の一巡目を平成30年度に終了。4段階の健全性区分を設け、緊急措置段階（Ⅳ）の橋梁が1か所、早期措置段階（Ⅲ）の橋梁が9か所と定めた（健全はⅠ、予防保全段階はⅡ）。限られた財源の中で最大限の効果を発揮するための維持管理を行う方針で進めている。丸保谷川無名橋、荒川橋は架け替えが完了し、今年度に一の瀬大橋、長谷橋の修繕工事、甲西中央橋の修繕設計業務委託を予定。残る早期措置段階で修繕設計業務委託が未実施の橋は、宮ヶ谷2号橋、五軒茶屋2号橋、落合川橋、西山川無名橋、祖父川無名橋の5か所。
主な 質疑応答等	<p>問目視以外での点検は行っているのか。また国からの補助割合は。</p> <p>答特別な点検も行っていない。国からの補助率は55%です。</p> <p>問今年度の実施予定の橋梁は修繕となっているが、他橋も含めて同じ考え方であるのか。</p> <p>答長寿命化計画の基本的考えは修繕となっている。架け替えによる経済効果の見込みなど特別な理由が無い限りは修繕が基準です。鉄筋の表面剥離、橋台の支承のゴムの劣化、橋梁の防護柵の劣化などが主な補修対象となる。</p> <p>問甲西中央橋は台風被害などで過去に修繕が多く、主要橋でもある。架け替えではなく修繕という対応が良いのか。</p>

答 経過年数を踏まえると、架け替えについても考える必要があるが、まずは長寿命化の処置を考えている。手法については今年度の調査を終えてから決定したい。また今年度市の道路整備計画の見直しを進めるなかで道路の位置づけと整合性を取りながら考えていく。

問 落合川橋の優先度は早めるべきではないのか。幅員が不足しているため修繕ではなく、架け替えの必要性があるのではないか。

答 橋梁の調査の中で緊急性の高い箇所から進めているが、落合川橋は来年度に設計、再来年度に修繕工事を考えている。現状では地下ケーブルの配線と水道管が添架されているため補償関係など多くの課題が残っている。幅員改善は補助対象でないが、単独事業費を講じて幅員不足の解消が可能であるか調査していきたい。

問 橋梁に対し景観上、交通安全上の配慮は行うのか。

答 長寿命化計画では機能復元が基本となるが、予算の範囲のなかで、対応したい。

問 甲西中央橋は歩道がないことで危険性が高いがその対応は。

答 現道路の修繕を基軸にまずは考えているが、道路整備計画の長期計画で対応などを考え、総合的な考えの中で検討したい。

問 道路整備計画の見直しにあたっては通学路の課題も含めて考えて欲しい。

答 重要な視点と捉えている。道路整備計画では、主に幹線道路、生活道路、通学路を含む歩道の整備を軸に計画を進めていく予定です。現在は、委員構成の検討中ではあるが、広く意見を聴収出来るように配慮していく。

問 一の瀬大橋、長谷橋現地踏査の中で、工業団地内の市道の劣化が著しいため改善すべきでは。

答 検討する。